

# 『如く日本一へ』

## イターズに迎えて



目指せ  
優勝!!



## 栗山監督が雪だるま 作りに挑戦!

1月20日、北海道日本ハムファイターズの栗山英樹新監督が、東区役所で開催された雪まつりつどいむ会場のPRイベントに参加しました。長縄勝ウエルカム協議会会長、岡村龍一東区長と共に雪まつの盛況と日本ハムファイターズの活躍を祈願する雪だるまを製作しました。



多くの来庁者や報道陣が見守る中、シャベットの雪をステンレスのボウルに詰めて作った頭と胴体に、目や鼻を取り付け、高さ50センチほどのかわいらしい雪だるまを完成させました。



↑タッピーと今年の活躍を約束

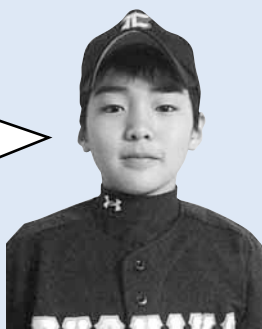
栗山監督は完成させた雪だるまに『はやぶさ』の如く日本一へ』と書いたプレートを下げました。大気圏で本体は燃え尽きながらもカプセルを地球へと帰還させた小惑星探査機「はやぶさ」になぞらえ「自己犠牲もいとわないで、チームが勝つために前に進みたい」と思いを込めました。



↑雪まつりつどいむ会場に飾られた雪だるま

## わたしたちも 応援しています!

伏古ファイターズ  
下屋敷 流矢さん



ぼくは、日本ハムファイターズが好きでいつも応援しています。そんなファイターズの監督をできるなんてすごいと思いました。ファイターズの監督としてがんばってください。応援しています。

栗山監督の印象を「ファイターズを強くしてくれそう」と話してくれた下屋敷さん。小学校1年生から野球を始め、伏古ファイターズで投手、3塁手として活躍しました。札幌ドームにも応援に行きます。迫力ある選手の活躍をドームに集まるファンと一緒に応援しています!



「こういった形で雪まつりに関わることができて大変うれしい。合宿所などがある東区には選手たちもお世話になっています。シーズン終了時にはみんな喜びあえるよう頑張ります」とあいさつをしました。会場からは大きな声援と拍手が送られていました。

